



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年1月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年1月14日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和6年度 一般会計補正予算（第8号）案のフレーム（資料1）
- 2 インターネット上の誹謗中傷等対策及びリテラシー向上のための講演会を開催します（資料2）
- 3 市税等の滞納処分により差し押さえた動産等をインターネット公売します（資料3）
- 4 令和6年度第3回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします（資料4）
- 5 渋川市内高等学校写真部等による「色」をテーマとした写真展を開催します（資料5）

その他資料提供

- ・サントリープロダクツ(株)榛名工場見学ツアーを開催します（資料6）

○次回開催予定

日時：令和7年1月20日(月) 午後1時～
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
1月14日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 新年度予算市長査定	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 財政課
1月15日(水)	9:00	新年度予算市長査定	市役所本庁舎	財政課
	16:30	日本共産党市議団から令和7年度予算に係る要望書の提出	市役所本庁舎	財政課
	19:00	三師会新年懇談会	プレヴェール渋川	健康増進課
1月16日(木)	10:00 11:00	渋川市自動運転バス試乗会 新年度予算市長査定	渋川駅バス乗り場 庁議室	交通政策課 財政課
	18:00	渋川北群馬保護区保護司会新年祝賀会	プレヴェール渋川	地域包括ケア課
	19:00	渋川市消防団新年会	塚越屋七兵衛	危機管理室
1月17日(金)	9:30 10:30	長寿者顕彰 新年度予算市長査定	市内 市役所本庁舎	高齢者安心課 財政課
	13:30	令和6年度渋川市戦没者追悼式	北橋公民館	地域包括ケア課
	18:30	渋川ライオンズクラブ・渋川中央ライオンズクラブ合同新年例会	プレヴェール渋川	産業政策課
1月18日(土)	12:00	熊野町自治会新年会	熊野町会館	市民協働推進課
1月19日(日)	8:30 9:10	りんごの里新春マラソン大会 令和6年度上毛かるた競技渋川大会	りんごの里住民センター 宮田商会武道館渋川	市民協働推進課 生涯学習課
	13:00	渋川市聴覚障害者福祉協会合同新年会	プレヴェール渋川	地域包括ケア課
1月20日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 新年度予算市長査定	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 財政課

資料1

令和6年度 一般会計補正予算(第8号)案のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
1 【新】物価高騰の影響を受ける低所得世帯への支援 277,562 (1) 国の経済対策に基づき、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付 (2) 住民税非課税世帯に対する給付の加算として、18歳以下の児童1人当たり2万円を給付	1 国庫支出金 282,666 (1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 277,562 (2) 人件費の増額に伴う国庫支出金の増額 5,104
2 人事院勧告に伴う人件費の増額 232,366	2 県支出金 1,276 人件費の増額に伴う県支出金の増額
3 その他 6,040 人件費の増額に伴う特別会計への繰出金の増	3 繰入金 74,878 財政調整基金繰入金
	4 繰越金 157,148 前年度繰越金
515,968	515,968

※計数整理により金額が変動する可能性があります

補正前予算額 38,181,052千円



補正後予算額 38,697,020千円

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)
 担当：財政課 (電話0279-22-2414)
 課長 荒井 啓充 (内線2150)
 財政係長 平林 徹哉 (内線2149)

資料2

インターネット上の誹謗中傷等対策及び リテラシー向上のための講演会を開催します

渋川市は、インターネット上で誹謗中傷を受けた人の精神的負担軽減とインターネットリテラシーの向上に努めています。その取り組みの一環として、市民を対象とした講演会を開催します。

1 概 要

渋川市は、令和4年度に「渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」を施行し、インターネット上で誹謗中傷を受けた人の精神的負担の軽減と、リテラシーの向上に努めています。インターネット上の誹謗中傷は社会課題となっており、多くの方がその被害に苦しめられています。インターネット上の誹謗中傷等に対して改めて考える機会とするため、自身が誹謗中傷で苦しい経験をし、現在は多くの方の支援を行っている元フリーアナウンサーで僧侶の高橋美清氏を講師に招き、講演会を開催します。

2 日 時 令和7年2月18日(火) 午後2時～3時30分
(開場：午後1時30分)

3 場 所 金島ふれあいセンター (渋川市金井1999番地)

4 講 師

照諦山 心月院 尋清寺 住職 高橋 美清 (たかはし びせい) 氏

【講師紹介】

講師は、モデルとして活動後、フリーアナウンサーへ転身し、多くのメディアに出演していましたが、インターネット上の誹謗中傷被害により仕事を奪われ、生活が一変したことから、その苦しい状況を乗り越えるために出家をしました。比叡山延暦寺での修行を経て、伊勢崎市に照諦山心月院尋清寺を建立し、現在に至ります。

自身の経験が同じように苦しむ人の役に立つと考え、中学校や自治体での講演や相談支援を行っています。

5 参加料 無料

6 定 員 300人

7 参加方法 申込不要 (当日、直接会場へ)

参考

渋川市のインターネットリテラシー向上に向けたこれまでの取り組み

1 インターネットリテラシー向上研修会

- (1) テーマ 「ネットの情報を賢く取捨選択するために」
 - ・加害者にならない配慮や対策
 - ・インターネット上の炎上やプライバシーの侵害について
- (2) 日 時 令和5年12月20日 午前10時～11時30分
- (3) 会 場 渋川市役所第二庁舎 201会議室
- (4) 講 師 一般社団法人日本メディアリテラシー協会
代表理事 寺島 絵里花 氏
- (5) 参加者 市職員29名

2 チラシ配布等啓発活動

渋川市内の公共施設において啓発ポスターを掲出するとともに、青少年健全育成キャンペーン（7月）にて、市青少年育成推進員連絡協議会主催のもと、市内高校生に対しチラシ等を配布し、青少年の健全育成及び非行防止と併せ、インターネットリテラシー向上に向けた意識啓発を行っています。



■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）
担当：危機管理室（電話0279-22-2130）
室長 佐藤 昭代（内線2180）
安全安心係長 樺澤 華一（内線1144）

渋川市インターネット上の誹謗中傷等 対策・リテラシー向上に関する講演会

謙めず生きる ～一隅を照らす生き方について～

渋川市では、「渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」を施行し、インターネット上で誹謗中傷を受けた方の精神的負担の軽減と、インターネットリテラシーの向上に努めており、その取組の一つとして、講演会を開催します。

講師

照諦山 心月院 尋清寺（伊勢崎市）

住職 高橋 美清 氏



【講師紹介】

モデルとして活動後、フリーアナウンサーへ転身。日本テレビ「おはよう天気」キャスターを経て、競輪のテレビ中継のメインキャスターとして、全国74局に出演。フリーアナウンサー時に、インターネット上での誹謗中傷被害により仕事を奪われ、生活が一変。比叡山延暦寺での修行を経て、心月院を新寺建立する。この経験が同じように苦しむ人の役に立つと考え支援を行う。また、中学校や自治体主催の講演会に出演し、自身の体験やインターネット被害の現状を伝え、支援活動を行っている。

現在は、手描き友禅仏教画師、伊勢崎市保護区保護司会保護司、SIAネットセーフティ・アドバイザーとしても活躍。

日時 令和7年2月18日（火）

14:00～15:30（開場13:30）

会場 金島ふれあいセンター（渋川市金井1999番地）

定員 300人（お申込み不要・入場無料）

お問合せ 渋川市情報防災部危機管理室安全安心係
☎：0279-22-2130
✉：anshin@city.shibukawa.gunma.jp



共生社会実現のまち
渋川市

渋川市は、「自分らしく」、「互いに寄り添い」、「共に生きる」『共生社会実現のまち』を目指しています。

資料3

市税等の滞納処分により差し押さえた動産等をインターネット公売します

渋川市は、市税等の滞納処分により差し押さえた動産や不動産を、インターネット公売します。今回は、不動産1件の売却を予定しています。

1 概要

渋川市は、市税等の滞納処分により差し押さえた動産や不動産を、入札の方法によりインターネット公売します。

インターネット公売は、その売却代金を滞納市税に充てることを目的とし実施します。通常の公売と比較すると、インターネットを通じて広く全国へ情報発信し、多数の入札者の確保が期待できるメリットがあります。

インターネット公売は、紀尾井町戦略研究所(株)が運営する「K S I 官公庁オークション」を利用して実施します。公売保証金を納付すれば、だれでも参加することができます。

2 実施方法

参加申込や入札等は「K S I 官公庁オークション」ホームページ上で行います。

また、滞納市税が完納した場合などは直前に公売を中止する場合があります。中止の場合は、渋川市ホームページ等でお知らせします。

- 3 公売財産 不動産 1件(入札方法:期間入札)
- ・所在地:渋川市祖母島字中井谷戸地内
 - ・地目、種類:宅地、作業場事務所
 - ・地積、床面積:土地3筆=計1,333㎡、建物1棟=274.60㎡
 - ・見積価格:359万円
 - ・公売保証金:36万円
- ※K S I 官公庁オークション及び渋川市ホームページで公売物件の情報を公開しています

- 4 参加申込期間 令和7年1月9日(木)午後1時~1月27日(月)午後11時

- 5 入札期間 令和7年2月3日(月)午後1時~2月10日(月)午後1時

- 6 最高価申込者決定日 令和7年2月10日(月)午後2時

- 7 売却決定日時 令和7年3月3日(月)午前10時

- 8 代金納付期限 令和7年3月3日(月)午後2時30分

9 入札希望者の流れ（概要）

随時	K S I 官公庁オークション会員登録（無料）
1 / 9 (木) 午後 1 時 ～ 1 / 27 (月) 午後 11 時	① K S I 官公庁オークションサイト内で物件を検索 ② 入札したい物件へ参加申し込み ・ 物件ページで『参加申し込み』ボタンをクリック ・ 参加者情報の入力 ・ 必要に応じ公売保証金の納付や書類等を提出
2 / 3 (月) 午後 1 時～	入札開始（入札形式）
入札期間	入札金額の入力・確認 ※入札は 1 回のみ
2 / 10 (月) 午後 1 時 ～ 午後 2 時	入札期間終了・開札 最高価申込者決定
3 / 3 (月) 午前 10 時 ～ 午後 2 時 30 分	売却決定 買受代金納付期限

10 K S I 官公庁オークションについて

官公庁オークションは、「Yahoo! 官公庁オークション」が令和 3 年 3 月末日でサービス提供を終了したため、令和 3 年 4 月 1 日以降「K S I 官公庁オークション」が承継しています。

運営している紀尾井町戦略研究所株式会社（K S I）は、平成 29 年にヤフー（株）（現 L I N E ヤフー（株））の子会社として設立され、令和 2 年 4 月に独立した民間シンクタンク・コンサルティング企業です。

参考

過去のインターネット公売実績

1 平成 30 年度

実施 3 回（せり売り）：売却 5 件、合計 4 万 5, 050 円

(1) 第 3 回 Yahoo! インターネット公売（せり売り）

実績：出品 5 件のうち売却 3 件（計 1 万 1, 050 円）

ア ベルボン 4 段三脚 / 3, 800 円

イ 空気清浄機 床置・卓上兼用型 / 2, 000 円

ウ オイルヒーター / 5, 250 円

(2) 第 4 回 Yahoo! インターネット公売（せり売り）

実績：出品 2 件のうち売却 1 件

ア デジタルハイビジョンカメラ / 2 万 1, 000 円

(3) 第 5 回 Yahoo! インターネット公売（せり売り）

実績：出品 1 件のうち 1 件

ア 液晶デジタルテレビ / 1 万 3, 000 円

2 令和5年度

実施1回（せり売り）：売却7件、合計11万650円

(1) 第6回インターネット公売（せり売り・入札）

実績：せり売り＝出品12件のうち売却7件（計11万650円）

入札＝出品1件のうち売却0件

ア 木製テーブル1台・木製イス4脚／3万円

イ 加湿空気清浄機／5,200円

ウ 石油ファンヒーター／3,800円

エ サイクロン式掃除機／6,100円

オ シュレッダー／5,550円

カ 介護用電動ベッド／3万円

キ 介護用電動ベッド／3万円

3 令和6年度

実施2回（せり売り）：売却2件、合計2万4,800円

(1) 第1回インターネット公売（せり売り・入札）

実績：せり売り＝出品5件のうち売却2件（計2万4,800円）

入札 出品1件のうち売却0件

ア 反射式石油ストーブ／3,800円

イ 介護用電動ベッド／2万1,000円

(2) 第2回インターネット公売（せり売り・入札）

実績：せり売り：出品3件のうち売却0件

入札：出品1件のうち売却0件

※令和元年度から令和4年度の間は、コロナ禍で訪問徴収や搜索を自粛したことや、公売に至るまでの様々な段階において、完納や計画的な分割納付等に繋がったことから、インターネット公売に付する案件がありませんでした。

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也（内線2100）

担当：納税課（電話0279-22-2390）

課長 森田 誠一（内線1540）

特別収納係長 岩田 淳子（内線1541）

資料4

令和6年度第3回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします

渋川市は、令和5年度に導入した「市政モニター」制度を活用し、44人の市政モニターを対象として、今年度3回目のアンケートを実施しました。36人から回答をいただいたアンケートの集計結果をお知らせします。

このアンケート結果は、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市ホームページで公開します。

1 概要

渋川市は、市の政策や計画策定などに対する市民意見を聴取し、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市政への市民参加の実現と開かれた市政を推進するため、令和5年度に「渋川市市政モニター」を設置しました。今年度は、市内関係団体からの推薦34人と公募による10人の計44人を市政モニターに登録しています。

今回、令和6年度第3回市政モニターアンケートとして、「10年後の渋川市について」、「渋川市議会について」、「市の職員の「カスタマーハラスメント対策」について」をテーマにしてアンケートを実施しました。

このアンケートの結果を報告します。

2 アンケート実施期間 令和6年10月23日～11月14日

3 アンケート実施対象

令和6年度渋川市市政モニター44人(推薦による登録・34人、公募による登録・10人)

4 回答状況 回答者：36人(20～80歳代) ※回答率：81.8%

5 アンケート集計結果(詳細は別紙のとおり)

(1) 10年後の渋川市について

①結果概要・主な意見

- ・世代に限らず生活しやすいまちでありたいという意見が多数ありました。そのためには、デジタル技術の活用が不可欠であり、関連知識の薄い人への対応を図ることで、市民の情報格差をなくす取り組みが必要との意見がありました

②今後の対応

- ・今回いただいた意見は、第3期渋川市総合戦略(計画期間：令和7年度～令和11年度)の策定に当たり参考とします

(2) 渋川市議会について

①結果概要

- ・市議会に関心のある人が多いものの、自分や市民の声が市議会に反映されているという人は多くありませんでした。しかし、議員や市議会に対しては多くのことが期待されている回答内容となりました

②主な意見

- ・執行機関と議会が協力して制度設計・事業計画に取り組むべき
- ・市民が議員や市議会と意見を交わせる場を設けてもらいたい

③今後の対応

- ・回答内容を、今後、市議会が予定している市民全体アンケートの参考とします

(3) 市の職員の「カスタマーハラスメント（カスハラ）対策」について

①結果概要

- ・モニターのうち実際に市の職員がカスハラを受けているところを見た人は多くありませんでしたが、約9割の人が市職員のカスハラ対策を進める必要があると回答しています。職員の名札の表記についての設問では、回答者の約7割がフルネーム表記を止めるなどの対応が必要だと回答しました

②主な意見

- ・市にとってのカスハラ基準を明示した方が良い
- ・カスハラ対策の前に市職員の教育を行ってほしい。回答に納得できず、さらに回答を迫る場合にカスハラと言われかねない
- ・名札自体が時代に逆行しているので必要ない。必要ならば偽名やイニシャルでもよい

③今後の対応

- ・今回いただいた意見は、本市のカスタマーハラスメント対策を進める上で参考とします

6 その他

今回のアンケート結果を、事業担当課を含む庁内の全所属に共有し、各施策の今後の展開に反映できるよう検討していきます。

参考

1 市政モニター登録者の情報

- (1) 居住地 渋川地区（17人）、伊香保地区（7人）、小野上地区（2人）、子持地区（7人）、赤城地区（5人）、北橋地区（6人）

- (2) 年 齢 20歳代 (5人)、30歳代 (9人)、40歳代(6人)、50歳代 (3人)、
60歳代 (9人)、70歳代 (9人)、80歳代 (3人)、
- (3) 職 業 会社役員、会社員、団体職員、パート、主婦、建設業、神主、
旅館業、農家、キャリアカウンセラー、インストラクター、
相談支援専門員、土地家屋調査士、施設指導員、自営業、
自動車整備・販売業、金属製建具工事業、大学生、無職
- (4) 性 別 (推薦による登録者のみ) 男性=22人、女性=12人
- (5) 任 期 1年

2 今年度のアンケートの回答状況

- 第1回 実施期間 令和6年6月18日～7月2日
テ ー マ ・ 渋川市とハワイ郡との交流について
・ 市の農林行政の推進について
回答状況 回答者40人、回答率90.9%
- 第2回 実施期間 令和6年9月2日～20日
テ ー マ ・ 新市誕生20周年について
・ 市の広聴事業について
・ プラスチックの分別収集について
回答状況 回答者37人、回答率84.1%

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2182)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

広報広聴係長 武井 香代 (内線2414)

令和6年度 第3回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和6年度 第3回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】** 令和6年度市政モニター44人（公募10人・団体推薦34人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する18歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】** 令和6年10月23日（水）～11月14日（木）
- 【実施方法】** アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】**
1. 10年後の渋川市について（問1～問2）
 2. 渋川市議会について（問3～問8）
 3. 市の職員の「カスタマーハラスメント対策」について（問9～問13）
- 【回答状況】** アンケート調査回答者：36人（20歳代～80歳代）
回答率：81.8%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- (1) 居住地 渋川地区（13人）、伊香保地区（6人）、小野上地区（2人）、子持地区（6人）、赤城地区（4人）、北橋地区（5人）
- (2) 年齢 20歳代（3人）、30歳代（7人）、40歳代（5人）、50歳代（2人）、60歳代（9人）、70歳代（8人）、80歳代（2人） /

渋川市
（広報室）

令和6年度 第3回
渋川市市政モニターアンケート結果

1. 10年後の渋川市について（第3期渋川市総合戦略）

市は今年度、デジタルの力を活用して「地方創生（※）」の実現を目指すための計画である「（仮称）渋川市デジタル田園都市構想総合戦略」（第3期渋川市総合戦略）の策定を進めています。

この計画は、10年後の渋川市の姿を見据え、「新たな時代の変化を取り込みながら、まちの魅力を創出し、住む人すべての幸せを育むまち」を目指すものです。この計画をよりよい計画とするため、さまざまな立場の人から多様な意見をいただきたいと考えています。

※地方創生とは…地方の人口減少と東京への一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことです

問1 10年後の渋川市はどんなまちになってほしいですか（あなたの理想の考えをご記入ください）。

<簡易抜粋>

- ・各地区の方が尊重をして協力していく社会。
- ・学校を卒業したら「働きたい・働きたい」まち。
- ・性別、人種、出身地、地位、障害の有無などで排除されることなく、全ての市民が渋川市民であることに誇りを持ち、ともに生活できるまち。「渋川市民でよかった」と思ってもらえるまちにしたいと思う。
- ・子供、若者、成年、高齢者、どの年齢にも、弱者の立場にいる人がいます。全ての人に手がさしのべられる優しい社会を望みます。
- ・郊外大規模店舗が賑わうだけでなく、中心部や各拠点（駅前、支所等）に賑わいがある街。
- ・個人個人を尊重されて誰も否定されないまち、よそから来た人も積極的受け入れるまちづくり・人づくりで安心して安全な住みやすいまち。
- ・人口減少になるため、デジタル化で子ども達の活躍を期待したい。高齢者がついていけるかも考える（高齢者は増える）。
- ・観光が盛んで、多くの旅行客が訪れるまち。
- ・効率としてのデジタル化を推進しつつ、伝統文化、地域文化を受け継げるまちづくり。
- ・地域性を活かした知名度の高いまち。それによって他地域と連携し、独自の先進的なまちづくりをしてほしい。
- ・社会的な弱者を産まない、相互扶助や公共福祉に溢れ、どの世代もが生活しやすいまち。

問2 上記「問1」の回答を実現するために、どんな取り組みが必要だと思いますか（可能な限りデジタル技術を活用する視点でご記入ください）。

<簡易抜粋>

- ・整備された ICT 環境を教育現場でフルに活用し「ふるさと渋川への愛着や誇りを育むための<キャリア教育>」をさらに推進することが必要。
- ・弱い人達、特に高齢者はデジタル技術を活用する知識が薄い人が多数存在しています。こうした人たちに無理なく活用できる環境を整えることを進めてもらいたい。
- ・市民が気軽に交流できるプラットフォームや、分からないことを気軽に問合せできる窓口があるといい。ただし、この窓口の概念もこれまでと同じ概念で同じようなことをしてはダメですよ。聞いてもそこで終わってしまったり、適切に真髓を見分けられたりアセスメントできる力のある方、行政の取り組みなどもある程度認識している方が担当しないと相談に行っても時間の無駄になってしまうので活用しようと思えない。また、補助金や助成金などの活用がもっとしやすくなると良い。市内の団体主催イベントに対するアナウンスにも一役になってほしい。前橋はアプリのすぐるで後援や共催イベント情報を発信しているので情報が届きやすい。
- ・手をさしのべるためには、対する相手の年齢や実情に応じて行いますが、全てデジタルを活用する事になるかなと思います。10年後は、いや、もうすでにデジタルの時代になっています。10年後はもっと進んでいますからから、逆に取りこぼされている人を見落とさないようにしていただきたいと思います。
- ・インフルエンサーやクリエイターに SNS 発信も大切であるが、これを利用していない方には、渋川市のLINE登録の推進。SNSの発信・受信についての講座を公民館単位で実施したら受講に出向きやすいと思う。
- ・出産など子育て関係の手続きがオンラインで完結できるように。産まれてすぐに母親は動けない。必ずどこかで協力者が必要。周りの出産した新パパママからよくこの不満が聞こえた。
- ・移住した人の体験やわからないことを気がるに問い合わせる窓口は絶対必要です。SNSでクリエイターに発信してもらうのも良いですね。土地を安く提供できる場所や空き家の情報を流すのもいいのではないのでしょうか。
- ・全戸ネット回線、テレワークの補助支援。
- ・群馬銀行様とアライアンスを組み、市内の小学校から資産形成の授業を行う。
- ・市民が気軽に交流できる窓口の設置。
- ・渋川駅周辺に集まって話せたり、休憩できる場所の確保。
- ・デジタル化を進め、地域の情報発信や他地域との連携を図っていく。そのためにも市民の情報格差をなくしていく必要がある。
- ・協力したいこと（人）協力してほしいこと（人）が身近に相談できる技術や場所の確保。
- ・移動販売車や配車サービスなど移動系のサービスをインターネット上で見れる仕組み作りやオンライン、テレワーク補助金などで住民の増加を目指す。

2. 渋川市議会について

渋川市を快適で住みよいまちにするためには、市民一人一人が市政に参加し、実行していくことが理想ですが、多くの市民が1カ所に集まり、話合うことは困難です。そこで、市民の代表として市政を担う市議会議員と市長を選挙で選び、市民の声を市政に反映させています。

市議会議員は、議会において市民生活のさまざまな課題について審議し、どう処理すべきかを決定しています。一方、市長は市議会が決めたことに基づいて実際に施策を実行します。

市議会と市長とは、お互いに独立した立場から協力し合い、市民生活の向上に努めており、その中で市議会は「市民に開かれた議会」を目指しています。

問3 市議会に関心がありますか。

- ①ある (20人・55.6%)
- ②少しある (12人・33.3%)
- ③ない (4人・11.1%)

20・80歳代は全員が関心があり、次いで、60・70歳代は「①ある」が多く、「②少しある」まで含めると、全員となります。また、30～50歳代も半数以上が「①ある」か「②少しある」と回答しています。

年齢別回答状況 単位:人

○は人数	①	②	③	合計
20歳代(3)	3	0	0	3
30歳代(7)	0	6	1	7
40歳代(5)	1	2	2	5
50歳代(2)	1	0	1	2
60歳代(9)	7	2	0	9
70歳代(8)	6	2	0	8
80歳代(2)	2	0	0	2
合計(36)	20	12	4	

問4 「市議会だより」を読んだことがありますか。

- ①よく読んでいる (18人・50%)
- ②たまに読むことがある (10人・27.8%)
- ③ほとんど読んだことがない (4人・11.1%)
- ④まったく読んだことがない (4人・11.1%)

60・70歳代は、半数以上が「①よく読んでいる」との回答でした。また、「④まったく読んだことがない」と回答したのは、30歳代だけでした。全体では、約2割の人が「③ほとんど読んだことがない」または「④まったく読んだことがない」と回答しました。

年齢別回答状況 単位:人

○は人数	①	②	③	④	合計
20歳代(3)	1	1	1	0	3
30歳代(7)	2	1	0	4	7
40歳代(5)	1	2	2	0	5
50歳代(2)	1	0	1	0	2
60歳代(9)	8	1	0	0	9
70歳代(8)	5	3	0	0	8
80歳代(2)	0	2	0	0	2
合計(36)	18	10	4	4	

問5 本会議や委員会を傍聴したことや、市議会ホームページで閲覧可能な中継または録画映像を視聴したことがありますか。

- ①議場や委員会室で傍聴したことがある（8人・22.2%）
- ②ホームページの中継や録画映像を視聴したことがある（8人・22.2%）
- ③傍聴したことも映像を視聴したこともない（20人・55.6%）

30歳代の約9割と40・50歳代の全員が「③傍聴したことも映像を視聴したこともない」を回答しました。また、70歳代は、問3では、市議会への関心がある人が多い結果でしたが、半数が「③傍聴したことも映像を視聴したこともない」と回答しています。

()は人数	①	②	③	合計
20歳代(3)	1	1	1	3
30歳代(7)	0	1	6	7
40歳代(5)	0	0	5	5
50歳代(2)	0	0	2	2
60歳代(9)	3	5	1	9
70歳代(8)	3	1	4	8
80歳代(2)	1	0	1	2
合計(36)	8	8	20	

問6 自分の意見や市民の声は、市議会に反映されていると思いますか。

- ①よく反映されている（2人・5.6%）
- ②ある程度反映されている（12人・33.3%）
- ③あまり反映されていない（21人・58.3%）
- ④全く反映されていない（1人・2.8%）

40歳代以上の各世代で、半数以上の人々が「③あまり反映されていない」と回答しました。

()は人数	①	②	③	④	合計
20歳代(3)	1	1	1	0	3
30歳代(7)	0	4	2	1	7
40歳代(5)	0	2	3	0	5
50歳代(2)	0	0	2	0	2
60歳代(9)	1	3	5	0	9
70歳代(8)	0	1	7	0	8
80歳代(2)	0	1	1	0	2
合計(36)	2	12	21	1	

問7 議員や市議会に期待することで当てはまるものを全て選んでください。

- ①市や市民の利益になるような政策の提言を行うこと (25人・69.4%)
- ②地域の生の声を拾い上げてほしい (21人・58.3%)
- ③市民生活で困っていることについて聞き、市につないでほしい
(24人・66.7%)
- ④市政のチェック (12人・33.3%)
- ⑤その他 (1人・2.8%)

「①市や市民の利益になるような政策の提言を行うこと」、「②地域の生の声を拾い上げて欲しい」、「③市民生活で困っていることについて聞き、市につないでほしい」の回答は、全世代から選択されています。

〇は人数	①	②	③	④	⑤	合計
20歳代(3)	2	1	1	0	0	4
30歳代(7)	4	4	5	3	1	17
40歳代(5)	3	2	4	1	0	10
50歳代(2)	1	1	1	0	0	3
60歳代(9)	8	5	6	4	0	23
70歳代(8)	6	7	6	4	0	23
80歳代(2)	1	1	1	0	0	3
合計(36)	25	21	24	12	1	

問8 市議会に対する意見や要望があれば回答ください。

＜簡易抜粋＞

- ・一般質問で市民生活に関わる問題（声）とは思えない「議員個人や会派等の利権」に関わる質問が散見される。質問は多岐に亘るとはいえ、そのような質問は別の場で議論すべきではないか。R5年度一般会計歳入歳出決算で「制度設計や事業計画が甘く今回も予算の執行率の低さが目立つ」と他人ごとのように指摘しているが、執行機関とそれを監視する議会がなぜ「協力」して予算編成の過程で、綿密かつ実行性のある制度設計・事業計画にできなかったのか。
- ・市議会だよりを毎回、拝見していますが、内容がわかりにくいと感じます。特に各市議からの質問内容について、どう回答されているかというのは、興味深いのですが市議ごとに記載されているため、自分が知りたい（興味がある）質問を探し出すのが大変です。質問内容と回答を箇条書きにして最後に議員名ではだめでしょうか。
- ・議員に期待する内容はいつどのように伝えられるのか方法論がわかりません。私にとってはあまり身近な存在と感じられません。市議会も同様です。後援者でなくても意見を交わせる場があるのでしたらもっとわかりやすく明確に示していただきたいですし、ないのでしたら設けていただきたいです。
- ・市議会だよりを読むくらいしかしていないが、皆さん頑張ってくれていると感じている。
- ・議員や市議会との接点が少なく、今後、どうすれば関わりを持てるのかわからない。

3. 市の職員の「カスタマーハラスメント対策」について

渋川市は、市民の理解を得ながら、市民に必要な行政サービスなどを提供するよう努めています。行政サービスの利用者などからの要望や意見は、市政を推進するに当たって価値のあるものであり、これらに対しては丁寧かつ、真摯に対応する必要があると考えています。

一方で、それら要望や意見がエスカレートし、職員への暴言や威圧、長時間の拘束などの、いわゆるカスタマーハラスメント（以下、カスハラ）となるケースがあります。カスハラの影響により職場環境の悪化や通常業務への支障、他の利用者へのサービス低下を招く恐れがあることは重大な問題であると捉えています。

他自治体では、カスハラ対策に関するマニュアルや規定を設けている事例もあり、本市としましても、職員を守るとともに、適正な行政サービスの提供を確保するため、職員アンケートなどにより対応の検討を進めています。

問9 市の職員がカスハラ（不当要求や侮辱など）を受けているところを見たことがありますか。

- ①ある（4人・11.1%）
- ②ない（32人・88.9%）

「①ある」と回答したのは、60・70歳代の人でした。
 ※「②ない」と回答した32人は、次の設問の対象とせず、問11からの回答となります

年齢別回答状況 単位：人

〇は人数	①	②	合計
20歳代(3)	0	3	3
30歳代(7)	0	7	7
40歳代(5)	0	5	5
50歳代(2)	0	2	2
60歳代(9)	3	6	9
70歳代(8)	1	7	8
80歳代(2)	0	2	2
合計(36)	4	32	

問10 上記「問9」で①と回答した方に伺います。あなたが見た市職員へのカスハラに当てはまると思うものを全て教えてください。

■①と回答した人（4人）

- (1) カスハラの内容はどんなものでしたか。
 - ①大声・攻撃的に話をする（4人・100%）
 - ②机や壁を叩くなどの威圧的な態度をとる（0人）
 - ③長時間拘束する（2人・50%）
 - ④不当な要求を行う（2人・50%）
 - ⑤職員の人格を否定（侮辱）する（1人・25%）
 - ⑥その他（0人）

(2) カスハラに至った原因は何だと思えますか。

- ①職員の対応（サービス提供）のミス・不備（0人）
- ②職員の対応する態度（0人）
- ③市民など行政サービスを受ける人の不満のはけ口や嫌がらせ（4人・100%）
- ④市民など行政サービスを受ける人の勘違い（2人・50%）
- ⑤手続きや制度の不備（2人・50%）
- ⑥その他（0人）

問 11 市職員がカスハラ対策を進めることについてどう思いますか。

- ①必要だと思う（32人・88.9%）
- ②必要だと思わない（3人・8.3%）
- 未回答（1人・2.8%）

「②必要だと思わない」と回答したのは、40・70歳代の3人でした。
※回答内容により次の設問の内容が変わります。未回答者（1人）は「①必要だと思う」と同じ区分で次の設問を回答しています

年齢別回答状況 単位:人

()は人数	①	②	未	合計
20歳代(3)	3	0	0	3
30歳代(7)	6	0	1	7
40歳代(5)	4	1	0	5
50歳代(2)	2	0	0	2
60歳代(9)	9	0	0	9
70歳代(8)	6	2	0	8
80歳代(2)	2	0	0	2
合計(36)	32	3	1	

問 12 上記「問 11」で回答した内容に合わせて下記に回答してください。

■①と回答した人（未回答者を含む33人）

(1) カスハラ対策として、名札のフルネーム表記を止めている自治体があります。このことについてどう思いますか。

- ①必要だと思う（24人・72.7%）
- ②必要だと思わない（9人・27.3%）

回答対象者のうち、40・50歳代の全員が「①必要だと思う」と回答しました。また、80歳代の全員が「②必要だと思わない」と回答しました。
※「②ない」と回答し9人は、次の設問の対象とせず、問 13からの回答となります

年齢別回答状況 単位:人

()は人数	①	②	合計
20歳代(3)	1	2	3
30歳代(7)	6	1	7
40歳代(4)	4	0	4
50歳代(2)	2	0	2
60歳代(9)	8	1	9
70歳代(6)	3	3	6
80歳代(2)	0	2	2
合計(33)	24	9	

■問 12 (1) で「①必要だと思う」と回答した人 (24 人) が質問対象

(2) 市職員の名札に記載する氏名の内容に対する意見として、当てはまるものを選んでください。

※現在は漢字フルネームの上にひらがなでふりがなを付記

- ①名字のみを漢字で記載する (7 人・29.2%)
- ②名字のみをひらがなで記載する (16 人・66.7%)
- ③その他 (1 人・4.2%)

＜その他意見＞

- ・名札自体が時代に逆行しているので必要ない。必要ならば偽名やイニシャルでもよい。
- ・現状と同じでよい。
- ・平仮名で大きく、漢字が同じでも読み方が違う。
- ・当人より課の役職者の名前を明記した方がよいと感じる。

年齢別回答状況 単位:人

〇は人数	①	②	③	合計
20 歳代(1)	0	1	0	1
30 歳代(6)	2	4	0	6
40 歳代(4)	2	1	1	4
50 歳代(2)	0	2	0	2
60 歳代(8)	2	6	0	8
70 歳代(3)	1	2	0	3
80 歳代(0)	0	0	0	0
合計(24)	7	16	1	

■問 11 で「②必要だと思わない」と答えた人 (3 人・対象者はアンケート終了) 回答の理由を教えてください。

＜簡易抜粋＞

- ・最近特にいろんなハラスメントで言ってますが、本来やるべきことをやらないうからです。何を求めているのか理解しないことが最大の問題です。説得、トコトン説明、そういうことをできる体制を整えるべきだと思います。
- ・必要性があるのか知らないし言葉で言えないものなのではないでしょうか？
- ・カスハラ対策の前に市職員の教育を行ってほしい。イエスかノーかの質問に対して、自身の保身のためか、あやふやな答え (まるで国会の官僚答弁のような対応) をされたことがある。回答に納得できず、さらに回答を迫る場合にカスハラと言われかねない。

問 13 どんなカスハラ対策が必要だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

■問 11 で「①カスハラ対策が必要」と回答した人（未回答者を含む 33 人）

- ①独自のカスハラ対策マニュアルの作成（17 人・51.5%）
- ②カスハラ防止条例の制定（16 人・48.5%）
- ③職員のカスハラ対策研修の実施（20 人・60.6%）
- ④職場内での相談体制の確立（22 人・66.7%）
- ⑤不当要求等を認めないチラシなどの掲出（10 人・30.3%）
- ⑥不法行為があった場合の警察への即時通報（18 人・54.5%）
- ⑦その他（5 人・15.2%）

<その他意見>

- ・市にとってのカスハラ基準を明示した方が良い。市民の理解を深める方が先だと考える
- ・投書箱の設置

年齢別回答状況

単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
20 歳代(3)	0	1	0	1	1	2	0	5
30 歳代(7)	4	3	4	4	3	5	2	25
40 歳代(4)	3	0	2	4	1	3	0	13
50 歳代(2)	1	1	2	1	0	0	1	6
60 歳代(9)	5	7	5	7	3	5	0	32
70 歳代(6)	4	3	5	3	1	2	2	20
80 歳代(2)	0	1	2	2	1	1	0	7
合計(33)	17	16	20	22	10	18	5	

「④職場内での相談体制の確立」は、全世代から選択される回答となりました。また、問 9 で、市の職員がカスハラを受けているところを見たことがあると回答した 4 人の回答では、「①独自のカスハラ対策マニュアルの作成」と「⑥不法行為があった場合の警察への即時通報」が、それぞれ 3 人から選択され、回答する人が多い結果となりました。

資料5

渋川市内高等学校写真部等による 「色」をテーマとした写真展を開催します

渋川市と市内高等学校との連携協力の一環として、写真部等の活動がある市内の県立高校4校の部員を対象とする作品展を開催します。今年は「色」をテーマに撮影をしてもらい、若者の視点でとらえた28点の作品を展示します。

1 概 要

渋川市における高校連携の一環として、写真部等の活動がある市内の県立高校4校の部員を対象とする作品展を開催します。今年のテーマは「色」です。

これは、若い視点の写真素材を市の宣材として収集・活用すること及び、高校生の活躍の場を創出するとともに、来場者に市の魅力を再確認いただくことで、郷土愛の醸成を図ることを目的にした取り組みです。

展示作品は、市のホームページや市が発行する刊行物の写真素材として活用するなど、広く市の魅力発信に活用します。

2 日 時 令和7年1月21日(火)～27日(月) 午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日を除く

3 場 所 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 テ ー マ 「色」 ※作品のタイトルにそれぞれの色が盛り込まれています

5 出展者（人数・作品数）

- ・渋川高等学校写真部（5人・5作品）
- ・渋川女子高等学校写真部（2人・2作品）
- ・渋川工業高等学校写真部（14人・14作品）
- ・渋川青翠高等学校写真同好会（7人・7作品）

※合計28人・28作品

6 入 場 料 無料



◀過去の写真展の様子

参考

昨年度（令和5年度）の実施結果

（1）日時・場所

①令和5年10月16日～20日・渋川市役所本庁舎1階市民ホール

②令和5年11月4日・渋川市民会館ロビー

（2）出展者 市内4校、全21作品

（3）テーマ 「渋川の夏」

（4）来場者へのアンケート結果

①居住地

・渋川市内…18人 ・市外…6人 ・県外…3人

②年代

・20歳未満…4人 ・20～40歳代…2人 ・50～60歳代…8人

・70歳以上…13人

③来場のきっかけ

・当日会場で知った…14人

・広報しぶかわを見た…7人

・市のSNSまたは市のホームページを見た…0人

・その他…7人（新聞、家族・友人から聞いた）

④感想（一部抜粋）

・さすがすがしい感じで心が和みました。ありがとう。

・見慣れた風景も写真で見ると、いつもと違うような感じでした。素晴らしかったです。

・それぞれ個性のある写真だった。渋川の魅力が伝わった。

・どこも知ってる風景で、写真にするといつもと少し違う感じがでていて、すごくいい。

・きれいな写真だった。次も楽しみにしています。

・とても素晴らしい作品ばかりで、うなずきながら見せていただきました。年に2回あっても良し。

・久しぶりに色々な写真を見ることができて楽しかったです。また見に来たい。

・高校生の発表の機会を多く持つことで生徒も頑張れると思います。年数回あればと思います。

・渋川に生まれ暮らして、改めて渋川の良さを再確認いたしました。どの作品も素晴らしい。

・何気ない一枚が懐かしかったり新鮮です。

・カメラからの視線をこれからも続けてください。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 小杉 早苗（内線2416）

サントリープロダクツ(株) 榛名工場見学ツアーを開催します

廃棄物排出量削減や環境負荷軽減などに取り組み、持続可能な社会の実現を目指す事業者の取り組みを市民に知ってもらうとともに、食品に対する「もったいないの心」を育むための取り組みとして、地元企業を見学するツアーを2月22日(土)に実施します。

今回の見学ツアーは、大人だけでなく、小中学生や高校生も参加できるように、学校が休みの土曜日に実施します。

1 概 要

渋川市とサントリーホールディングス(株)及びサントリー食品インターナショナル(株)は、互いに持つ資源を有効に活用し、協働した活動を推進することで、循環型社会の形成による持続可能な社会の実現、地方創生や更なる地域活性化などを目的とした包括連携協定を締結しています。

サントリー食品インターナショナル(株)のグループ会社であるサントリープロダクツ(株) 榛名工場は、植物性残さ(茶粕、コーヒー粕等)を飼料や肥料に再資源化して廃棄物排出量削減に取り組んでいます。また、食品廃棄物を削減する取り組みとして、余剰商品を慈善団体に寄付し、貧困に苦しむ人々の支援も行っています。そのほかにも、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル」水平リサイクルを推進し、ペットボトルを資源として何度も循環することで、持続可能な社会の実現を目指し、環境負荷軽減に取り組んでいます。

これらの取り組みを市民に知ってもらうとともに、食品に対する「もったいないの心」を育むために、サントリープロダクツ(株) 榛名工場見学ツアーを実施します。

2 日 時 令和7年2月22日(土) 午前10時～11時30分
集合時間：午前9時20分 解散時間：正午予定

3 見学場所 サントリープロダクツ株式会社 榛名工場
(渋川市半田200)

4 集合・解散場所 渋川市役所本庁舎駐車場(バスで見学場所へ移動します)

5 内 容

- (1) 工場見学
- (2) 事業者の取り組み説明

6 対 象 者 渋川市内在住・在勤・在学の人

7 定 員 20人(抽選)

8 参加料 無料

9 申込方法 応募申込フォーム又は電話で環境森林課（TEL 0279-22-2114）へ



◀応募フォームはこちら

10 申込期間 令和7年1月17日(金)～31日(金)

参考

サントリーホールディングス株式会社及びサントリー食品インターナショナル株式会社との包括連携協定

1 概要

渋川市と両社が互いに持つ資源を有効に活用し協働した活動を推進することで、循環型社会の形成による持続可能な社会の実現、地方創生や更なる地域活性化などを目的に、令和5年3月23日に包括連携協定を締結しました。

2 連携事項

- (1) 環境保全・循環型社会の形成に関すること
- (2) 地域振興に関すること
- (3) 教育に関すること
- (4) 防災・災害対策に関すること

3 主な実績

- (1) 渋川市、吉岡町、榛東村から排出されたペットボトルを渋川地区広域市町村圏振興整備組合が回収し、サントリーホールディングス株式会社において使用済みペットボトルをペットボトルとして再生利用する「ボトルto ボトル」の水平リサイクルを実施
- (2) しぶかわ市民教育の日、黒井峯遺跡マラソンでの景品提供

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1110）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）